

# 下水道事業会計決算

2億63万円の  
単年度損失

平成18年度は、下水道事業に地方公営企業法を適用した企業会計となつて、2年目の決算になります。平成18年6月に事業の認可変更を行い大館・比内・田代地域の計画の一本化を図りました。

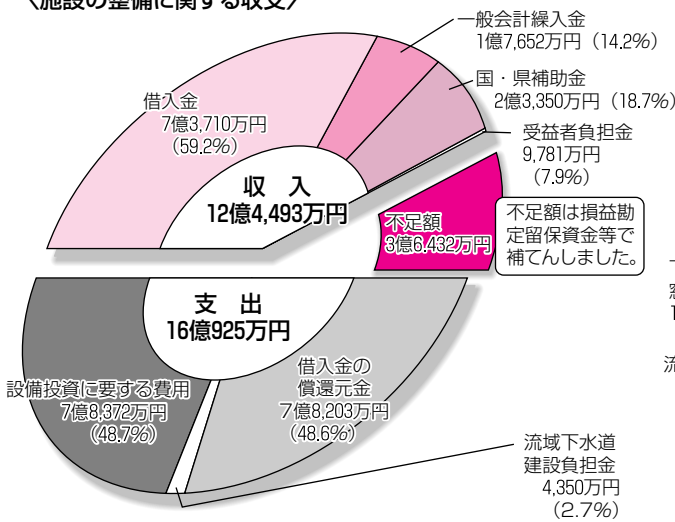
平成18年度の収入は10億8862万円、支出は12億8925万円、差し引き2億63万円の赤字となりました。これは、下水道事業が建設途中のため、使用料収入が十分に見込めないためです。

市内には、まだまだ下水道が通っていない地区があり、これからも多額の事業費が必要です。そのため、今後も赤字が続きますが、少しでも赤字額を減少させるために努力していきます。

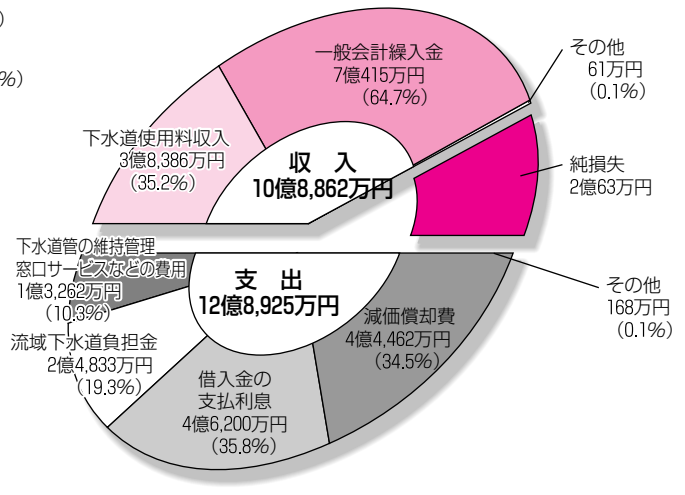
**水洗化にご協力ください**

下水道を整備すると、トイレの水洗化等が進み、また家庭などからの汚水は処理場で浄化し放流するため、川や海などの水質がきれいになります。この施設の建設や維持管理の費用の一部は、下水道使用料や受益者負担金などでまかなわれています。環境を守り、快適な暮らしを実現するために、地域ぐるみの水洗化にご協力ください。

## 資本的収支 (消費税込み) 〈施設の整備に関する収支〉



## 収益的収支 (消費税抜き) 〈事業の運営に関する収支〉



## 平成18年度に整備した地区

大館地域の字相染沢中岱、字桜町南、字鉄砲場、字長木川南、字中城、字古川町、赤館町、東台、比内地域の笹館、片貝などの一部

新たに下水道が使えるようになった面積 36ha

## 処理状況

行政区域内人口	83,451人
処理区域内人口	29,897人
普及率	35.8%
水洗化人口	22,166人
水洗化率	74.1%
年間処理水量	2,336,403 m <sup>3</sup>
年間有収水量	2,328,517 m <sup>3</sup>
有収率	99.7%

## 平成18年度大館市下水道事業貸借対照表 (平成19年3月31日現在)

